



OHANAとはハワイ語で「家族」。ホーム・住宅に関わりのある全ての方が、家族のような気持ちで支え合える様に、願ってつけました。タイトルは発行人のハワイ好き由来です。

グループホームみずほ

認知症の高齢者の気持ちを考えてみよう

認知症の高齢者は、自分が認知症であるという自覚がありません。自分では「ぼけた」と言うときでも、本当に自分の状態を理解しているわけではなく、半ば謙遜したり、周りからいつも言われていることが口癖のようになって、言っていることが多いものです。その為、自分の行動にプライドを持っています。ですから、自分が失敗したことを見せまいとして、かえって「行動・心理症状」をおこしてしまうのです。また、自分の衰えなどに対する不安などで心理的に不安定でもあります。自分の失敗を自分じゃないと言い張ったり、あるいは感情をコントロールする機能が低下する為にちょっとしたことで怒ったり泣いたりすることがあります。

認知症の高齢者は、周囲との意思疎通が出来ないことをもどかしく思っています。また、感情の面は研ぎ澄まされていて、相手の好悪の感情に敏感に反応します。そして、相手が自分のことをよく思っていないということを嫌い、相手が興奮していることに興奮します。そして興奮している自分に余計興奮するのです。

認知症の高齢者も機嫌の良い時は落ち着いています。認知症の高齢者が落ち着かなかったり行動・心理症状をおこすのは、実は介護者の不安や動揺や嫌悪を感じているせいなのかも知れません。認知症が進んでも、この様に認知症の高齢者の心には、私たちにも十分理解したり共感できる部分は残されているのです。

エーザイ/ファイザー 認知症の高齢者への具体的な接し方 より

収穫祭と称し、感謝祭を行いました。
家族様ボランティア様住人様と羊煮会。
一緒に作り一緒に食べました。
家族様10名、ボランティア9名、
住人様18名、職員5名、計42名。



武蔵野小5年生が遊びにきました
とてもイキイキと交流されました



オレンジカフェ営業中

毎月第2金曜日
14時～15時半
会費 100円

(飲み放題?! お菓子付き)

おくづけ

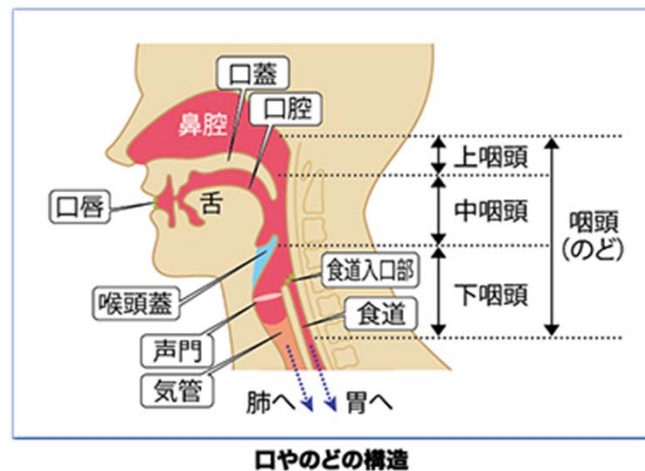
〒350-1138
川越市中台元町1-16-11
GH/サ高住みずほ
☎049-246-2355・2356
発行人 佐々木政子

サービス付き高齢者向け住宅みずほ

上手に飲み込めることが長寿の秘訣!!

人は食事を摂る時、食物を認識して噛み砕き(咀嚼)、飲みやすくして口の中から咽喉へと食物を送ります。この飲み込む時、喉頭蓋が下がることで気管を閉じ、食道へ入っていくのですが、タイミングがずれたり意識が違うところに行ったりするとムセたり誤嚥を起こします。「考え事をしていたらへんなトコ入っちゃった」なんてことはありませんか？

「飲み込む」という一連動作、無意識にやっているようで実は意識しているから自然と出来る動作です。ムセられるうちは気管が異物を排除しようとしているので良いのですが、嚥下機能が低下すると誤嚥性肺炎や、食欲低下も起こります。食事の時はよく噛んで意識して飲み込むように心掛けましょう。



口やのどの構造



サ高住フロントの折り紙飾り:ポインセチア
季節の花々が折り紙で表現される様は素敵です。

ボランティア コンサート

平成29年12月14日(木)
14:00～15:00
サ高住みずほにて
フルーツアンサンブル

2017.11.05.(日)の
コンサートは
当方の事情により
左記日程に
変更しました

